

令和4年度 栃木県中学校新人体育大会 大会規定

※栃木県中学校新人体育大会バドミントン大会【感染防止対策】にのつとり大会を行う。

1. 競技規則

- (1) 現行の（公財）日本バドミントン協会競技規則に準じて行う。
- (2) すべての試合を21ポイント3ゲームマッチで行う。
延長ポイントは最大30ポイントまでとする。
- (3) シャトルは（公財）日本バドミントン協会2種検定合格水鳥球を使用する。

2. 競技方法

- (1) 団体戦・個人戦ともに、トーナメント戦で行う。
3位決定戦は、同地区のときは行わない。
- (2) 団体戦は、2複1単の対抗戦とし、複・単・複の順に行う。（2コート以上で試合を並行して行うこともある。）
- (3) 団体戦は、2試合先取で終了とする。
- (4) 団体戦の選手は5名～7名とする。特別な事情のない限り、団体戦の試合開始時点で5名未満の場合は棄権とする。
- (5) 団体戦・個人戦ともに単・複は兼ねられない。

3. 競技上の注意

- (1) 意図的に試合進行を遅らせる行為は厳禁とする。汗ふきや靴ひもの締め直し、ラケット交換等は必ず主審の許可を得ること。
- (2) 審判への抗議は認めない。不審な点があれば、当該選手が主審に礼儀正しく質問すること。
- (3) 試合中の給水についてはインターバル中を原則とする。その際、ふたが確実にしまり倒れてもこぼれない容器を使用するとともに、水滴が床につかないようにすること。
- (4) 予備のラケット、着替え、飲み物等は、各自バッグ等を用意してコートサイドに置くこと。

4. 審判上の注意

- (1) 団体戦の審判について
 - ・ 審判3名（主審1名・線審2名）と補助員1名（得点係）で行う。
 - ・ 最初の試合は本部で割り当てられた学校が審判を行う。その後は敗者審判とする。
 - ・ 準決勝、決勝、3位決定戦の線審、補助員はベスト8で敗退した学校が行う。
- (2) 個人戦の審判について
 - ・ 次に試合を行う選手が審判を行う。
 - ・ シングルの審判は2名が対角線でそれぞれ主審と線審、得点板と線審を兼ねて行う。
 - ・ ダブルスの審判は4名が団体戦の審判と同様に行う。
 - ・ 準決勝、決勝、3位決定戦の線審、補助員はベスト8で敗退した選手が行う。
- (3) 団体戦および個人戦の決勝・3位決定戦・準決勝の主審は原則として教員または県中体連から委嘱された審判が行う。
- (4) 主審が判断できない場合は、審判長の助言、判断を仰ぐこと。

5. その他

- (1)選手は上衣背面に、縦 20cm、横 30cm の範囲内に学校名・姓を表示したゼッケンをつける。(4点止めを原則とする)
- (2)ゼッケンに表示する校名や姓の文字の大きさは6～10cmとする。
- (3)上衣は短パンの中に入れる。
- (4)長ズボン、七分丈のズボンでの参加は認めない。
- (5)生徒指導上問題のある生徒の参加は認めない。
- (6)監督・コーチがベンチ入りする際は、IDカードを身に付けること。
- (7)当該校の学校長が認め、所定の手続きを経たコーチについては、監督同伴でベンチ入りを認める。
- (8)大会の会場準備は、1日目は鹿沼・下都賀地区、2日目は宇河地区とする。
- (9)朝の練習時間を次のようにする。(準備の関係で変更することもある。)
9:20～9:25(対戦表1/4ブロック左上) 9:25～9:30(対戦表1/4ブロック左下)
9:30～9:35(対戦表1/4ブロック右上) 9:35～9:40(対戦表1/4ブロック右下)
- (10)練習終了後、すぐに諸連絡を行う。(開会式は行わない)